

科目名 Subject	インターンシップ Internship		教員名	大野 淑子	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	1単位
必修/選択	選択	授業形態	演習	時間	30時間
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	◎	◎	◎	◎
科目の概要	<p>インターンシップの意味や目的、社会常識やコミュニケーションスキルについて事前教育を行い実践に臨む。一定期間、企業等で仕事を体験することにより、社会人として働くとはどういうことか、また社会人として必要な心構えや、知識、技術はどのようなものか、について学ぶ。行先により時期が異なるが、夏のインターンシップは8月～9月、春のインターンシップは2月～3月に5日間～1か月間実施する。終了後に各専攻及び全体でインターンシップ報告会を行う。</p>				
授業の目標	<p>企業等で就業体験を行うことによって、企業や業界について学び自分の進路を現実的に捉えることができる。またインターンシップ（職場体験）を通して、社会人として必要なスキルや能力を認識し、その後の学生生活で自分のすべきことを把握し実践することができる。さらに、超高齢社会を視野に入れ、美齢の視点で社会を捉えることができるようになる。</p>				
時間外学習 (予習・復習)	<p>インターンシップ先の企業研究や、マナー、コミュニケーション力の強化など各自自覚を持って準備する。インターンシップ期間は実習日誌を毎日書くことで社会や仕事への理解を深める。</p>				
教科書・教材	教科書	教員作成資料			
	教材	教員作成資料			
	使用設備・備品	ipad・PC他			
	参考文献	「インターンシップリテラシー」長谷川文代 西文社 2010			
評価方法	事前教育への取り組み姿勢及び課題20%、実習日誌30%、引率教員の評価20%、企業評価30%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	希望者は事前に選抜面接を行いインターンシップ先を決定します。取り組み姿勢、健康状態によっては希望に添えない場合もあります。また受け入れ企業の事情により実施の変更や中止の可能性がります。				
本科目履修と関連する資格	資格名	特になし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	インターンシップを理解する	インターンシップの意味や目的を理解し概要を述べることができる。	授業で学んだことを整理し理解する(復習60分)
第2回	業界理解①(美容業界)	美容業界について理解し説明できる。	興味のある企業や業界について調べ、働き方について考える(復習60分)
第3回	業界理解②(その他の業界)	様々な業界や企業について理解し説明できる。	興味のある企業や業界について調べ、働き方について考える(復習60分)
第4回	インターンシップ先の決定	インターンシップの受け入れ企業を決定し志望動機について述べるができる。	インターンシップ先の企業について徹底的に調べる(復習60分)
第5回	履歴書作成	自己PR及び志望動機について考えを述べるができる。	自己PRや志望動機を自分の言葉で伝えられるよう練習する(復習60分)
第6回	面接対策	自己PRや志望動機を自分の言葉で説明できる。	面接練習をふりかえる(復習60分)
第7回	インターンシップ先研究	インターンシップ先についての情報や熱意を説明できる。	インターンシップに向けての確認作業や準備を行う(60分)
第8回	マナー教育	インターンシップに必要なマナーを理解し説明できる。	インターンシップに向けての確認作業や準備を行う(60分)
第9回	事前準備	インターンシップの意味や目的を改めて理解し行先に合わせた準備を行い実践することができる。	事前訪問を行う(60～分)
第10回	インターンシップ①企業理解	インターンシップ先について理解を深め概要を理解できる。	業務内容や学んだことを整理し日誌をまとめる(60分)
第11回	インターンシップ②業務理解	業務を理解し指示に従って仕事を行うことができる。	業務内容や学んだことを整理し日誌をまとめる(60分)
第12回	インターンシップ③仕事理解	業務を理解し主体的に仕事をこなすことができる。	業務内容や学んだことを整理し日誌をまとめる(60分)
第13回	インターンシップ報告	関係する先生や担当者への報告の意味を理解し実践することができる。	お礼状の送付(60分)
第14回	インターンシップまとめ	経験したことをレポートやプレゼン資料にまとめ、その後の学習に活かすことができる。	レポートやプレゼン資料の完成(60分～)
第15回	成果報告	インターンシップでの学びについて熱意を持って説明することができる。	自分の体験をプレゼンテーションできるよう準備する。友達の発表から共感したものを活用する(60分～)